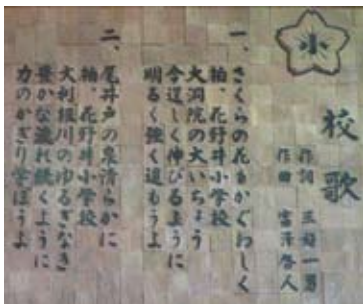


発行 柏市農業委員会 〒277-8505 柏市柏五丁目10番1号 ☎ (04) 7167-1111 (代表)



金山でJ A東葛ふたばの大根部会長を務めている鹿倉さん  
中古の田植機を改良し、中耕除草機を自作しました。



花野井小学校の校歌  
(小学校体育館より)  
2番で尾井戸が歌われている。

(記事・写真) 飯塚 恒男 編集委員

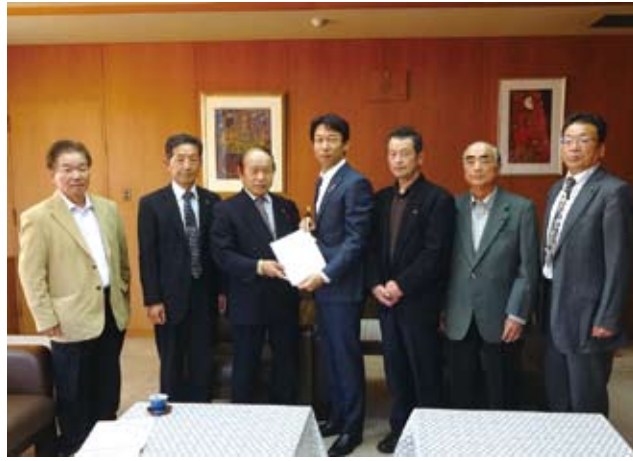
花野井交番の裏あたりに「尾井戸」という小字の場所があります。「尾」という漢字は山の頂上、「戸」という漢字は場所を表しますので、「山の井戸のある所」となります。少年時代、確かにその場所が小高くなっており水路があったことを思い出します。柳の木も植えてありました。尾井戸からは縄文時代の遺跡が発掘される等、歴史はとも古いです。江戸時代初期です。絵図の中に記載されています。花野井小学校の校歌を初代校長である三好先生が作詞した2番に「尾井戸の泉」としてその名を取り入れていますが、現在水路は埋められてしまっています。その名を残していますが、校歌としてその名を残し続けるでしよう。

## 「尾井戸（花野井）」

## 地名の由来

平成27年度  
柏市農業施策に関する建議  
及び回答(抜粋)

平成26年10月24日に、平成27年度柏市農業施策に関する建議書を市長に提出しました。



内容及び回答の抜粋は次のとおりです。

【詳細は柏市HP掲載】

1 農業生産基盤整備対策

①基盤整備計画 県や土地改良区と連携をはかり、農作業の効率化を促進するため、新たな基盤整備計画を要望された。また、現在設置されている用水施設等は老朽化し、農作業に影響が

出始めているため適切な改修計画及び維持管理に努められたい。

①回答 土地改良施設の老朽化対策として、利根土地改良区管内においては、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業(利根)として青山排水機場の機能更新事業を実施しています。また、基幹排水路についても施設全体の機能保全に向けた事業を計画中であります。千葉県手賀沼土地改良区管内においては、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業(手賀沼)として、手賀機場の機能更新事業を実施していますが、土地改良施設の能力低下などによる農業災害が発生している状況となっております。このため、国営・県営事業などによる用排水機場などの整備についても、国、県、地元等の協力により実施してまいります。

2 担い手育成対策

①担い手の育成 市の担い手育成構想を具現化し、担い手を確保し、意欲や知識を向上させるため、若手農業者の交流会や地方・海外への視察研修の開

催等、既存若手団体への支援を講じられた。また、担い手の声を聞く意見交換会などの場を設け、自覚を促し育成を図られたい。

①回答 農業の若手団体としては、「柏農業青年会議」「沼南農事研究

会」「流山4Hクラブ」があります。

それぞれ独自の組織運営及び事業活動を行っております。柏市としても、これらの組織と相互連携を図りながら、今後の柏市農業を担う人材の育成に向けて、必要な支援等を検討してまいります。また、昨年12月には、これらの若手団体と市長を交えた意見交換会を行い、その結果等を市の施策へ反映しておりますが、今後も定期的に若手農業者との意見交換の場を設け、柏市農業の担い手の育成に努めてまいります。

②担い手への支援 担い手農業者不足の原因の一つとして、経済的事由がある。原因の一つとして、経済的事由がある。税の軽減措置等独自の支援策を講じられたい。規模拡大を希望する担い手に対しては、空き農地情報の提供や6次産業化のための施設等の支援を講じられたい。担い手を増やす上で、農業の後継者である「農家子弟」への支援は農業が継承されるうえで重要な位置づけのため、「農家子弟」に対して市独自の支援策を講じられたい。

②回答 担い手農業者の不足と農業者の高齢化等、現在の農業における課題の根本的な原因は、低い収益性であります。柏市としても、収益性の高い農業の確立に向けて様々な施策や事業等を行っておりますが、現時点において、市独自で税の軽減措置等を行うことは、租税法上難しいと考えており

ます。しかしながら、規模拡大等を希望する担い手農業者に対しては、経営の拡大及び経営力の強化に向けて、必要な支援策等を関係機関と検討してまいります。農業後継者である「農家子弟」の支援につきましては、次年度から展開する新たな「柏市都市農業活性化計画」において、柏市農業の将来を担う重要な人材として、その育成と確保に向けた取り組みを関係機関と連携して行っております。

3 主要農産物の生産振興・販売促進対策

①主要農産物の販路拡大 農業者の所得向上のため、柏市産主要農産物の販路拡大や適正価格決定に関する販売支援等を行われたい。現在行われている食メッセや農家ツアー等については、引き続き継続し、さらなる成果が出るよう改善に努められたい。農業者の販路の一つとして公設市場があるが、柏市の公設市場にもかかわらず、柏市産の農産物に対しての支援が少ない。柏市産の農産物に対し積極的な取り組みをおこなうよう要求されたい。

①回答 柏産農産物の販路拡大に向けては、市内における農産物の購入機会等の拡大を図るため、柏駅前百貨店等において、農業支援団体による農産物の即売会が定期的に開催されています。また、今年度実施した食メッセや農家

ツアーについては、アグリコミュニケーションの課題等を整理したうえで、より効果的な施策となるよう関係機関等と検討を進めてまいります。公設市場青果卸売業者は、新鮮で高品質の青果物の取引向上のため、積極的に地産青果物の集荷に努めているところです。また、公設市場内の仲卸業者や買受人等からは、柏市産の農作物を安定的に集荷するよう、要望を受けている状況です。しかし、公設市場では、こうした要望に十分応えられる集荷量を確保できない状況にあります。柏産農産物を積極的に市場へ出荷いただけるよう、卸売業者等の市場関係者と検討してまいります。

②付加価値の向上 売り場に様々な産地の農産物が並ぶ昨今において、ブランド化が進められた農産物は有利に取引される。「柏産」がブランドとなる施策を講じられたい。また、農産物の安全性や品質の向上のみならずブランド化にもつながる「農業生産工程管理（GAP）」を取り入れた独自の施策を検討されたい。

②回答 柏産農産物のブランド化については、農業者のみの価値観ではなく、消費者・飲食店事業者等からも支持されるブランド化に向けて、アグリコミュニケーションかしわ委員会において、他産業者等とも協同で検討しております。

す。新たな付加価値化によるブランド化は、その価値を確立し、普及するまで、ある程度の期間を要することから、引き続き関係機関等と連携し検討してまいります。また、「農業生産工程管理（GAP）」については、消費者から支持される安心・安全な農産物の供給の観点からも、次年度から展開する新たな「柏市都市農業活性化計画」において、取組む生産者団体等の支援を行ってまいります。

#### 4 遊休農地対策

①不耕作地の有効活用 農地中間管理機構が動き出したが、不耕作地の多さと比較して農地の貸し手が少ない状況である。制度の周知を進めるため、農業者だけではなく、農地を相続した非農家にも周知活動を行う必要がある。「人・農地プラン」を検討する懇談会が4地域で開催されているが、「空き農地情報」を効果的に利用し、不耕作地が担い手に集積されるような運用を講じられたい。

①回答 不作付地の有効活用と農地の流動化を加速させるために、今年度から実施している「農地中間管理事業」は、全国的にも当初の予測の約1割程度の実績に留まっており、柏市においても同様であります。このような状況を踏まえ、農地の貸出し希望の所有者

等に対し、個別のヒアリングを実施するとともに、農地中間管理事業の制度説明会を行ったところであり、今後も引き続き、貸出し希望の農地の情報収集に努めるとともに、市独自で行っている「空き農地調査」等を活用し、農地の出し手と受け手のマッチング等関係機関と連携しながら不作付地の有効活用を図ってまいります。

#### 5 その他

①都市農業の対策 農業を営むには必然的に雑草等の廃棄物が発生するが、その処理方法や周辺住民への説明対応に苦慮している。農業者に対し適正な処理方法を提示し、周辺住民へも周知されたい。

①回答 都市化の進展等に伴い、営農環境は厳しいものとなっております。なかでも住宅地周辺での農作業等においては、周辺住民の住環境への配慮等も必要であり、農業者の負担も大きくなっております。このような状況を踏まえ、次年度から展開する新たな「柏市都市農業活性化計画」において、市民への農業理解の促進・醸成に向けた取組みや支援を行ってまいります。また、農業生産の過程において発生する廃棄物等についての適正処理は、排出事業者側に求められておりますので、所管する環境部等と連携し、農業者へ

の啓発活動等を行ってまいります。

②柏市都市農業活性化計画 手賀沼周辺地域協議会及び北部地域協議会について、引き続き地域農業者の意見を取り入れた地域農業の振興に対する施策を検討し、実行されたい。また、広く意見を募るためにも計画・構想の周知を徹底されたい。

②回答 今年度、柏市農業の基本計画である「柏市都市農業活性化計画」の改定作業を進めております。改定にあたっては、現在、市内を4地域に分けて行っている「地域担い手座談会」において、改定の内容等について、説明を行い、農業者からの意見等を踏まえ、随時修正を加えながら計画の取りまとめを行っていただいております。新たな「柏市都市農業活性化計画」においては、それぞれの地域特性を活かし、効果的な農業振興につながるよう関係機関等と調整し、施策を推進してまいります。改定した内容につきましては広報や市ホームページ等にて周知してまいります。



「たけのこ」の出荷制限の解除

平成24年4月11日から出荷制限が指示されていた「柏市で産出されるたけのこ」は、平成27年1月22日付けで、国の原子力災害対策本部から、原子力災害対策特別措置法第20条第2項に基づき、出荷制限が解除されました。今後、市では、食の安全安心を確保するため、県と連携しながら、たけのこの出荷前及び出荷期間中の検査等に取り組み、迅速な検査結果の公表に努めます。

なお、柏市産たけのこの出荷・販売等を行うためには、次の条件をすべて満たす必要があります。

◆柏市産たけのこの出荷・販売等の際  
 しての条件

・平成27年春に県が実施する出荷前検査の結果がすべて基準値以下であること

・市または県が実施する放射性物質検査を受け、検査結果が基準値以下であること（但し、50ベクレル/キログラム以上、1000ベクレル/キログラム以下の数値の場合は再検査）

・市が作成する生産者台帳に登録し、市から「証明書」の交付を受けること

◆問合せ先

柏市農政課  
 (電話04-7167-1143)

千葉県農林水産部森林課  
 (電話043-223-2966)

千葉県北部林業事務所印旛支所  
 (電話043-483-1130)

ナラシ対策加入で経営の安定化

ナラシ対策（収入減少影響緩和対策）に加入すると、価格下落による収入の減少に備えることができます。27年度からは規模要件がなくなり、認定農業者、集落営農、認定新規就農者であれば加入できるようになりました。

Q：交付対象となる作物は？

A：主食用米のほか、麦、大豆も対象となります。（生産数量目標に従った生産を行うことが必要です）

Q：誰でも加入できるの？

A：認定農業者、集落営農、認定新規就農者が加入できます。また認定農業者等の担い手となっていない場合は、27年産の加入申請期限（27年6月末）までに、認定農業者や認定新規就農者になるか、集落営農に参加することが必要です。

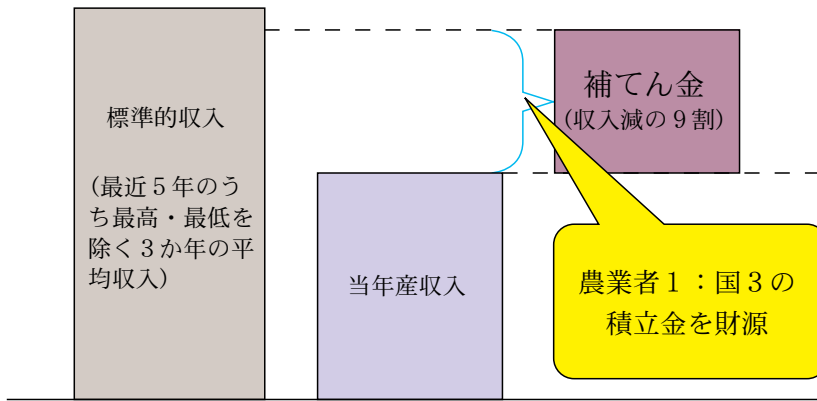
Q：手続きはいつまでにすればいいの？

A：加入申請は、例年、経営所得安定対策の続きと合わせて生産年の6月末日に地域農業再生協議会または千葉地域センターへ必要書類を提出することとなっています。

なお、積立金の納入は生産年の7月末日まで、交付申請手続きは生産年の翌年4月末日までに行うこととなっています。

農業者1：国3の積立金を財源

◇問合せ先 柏市農業再生協議会事務局  
 柏市農政課(04-7167-1143) 関東農政局千葉地域センター(043-251-8307)

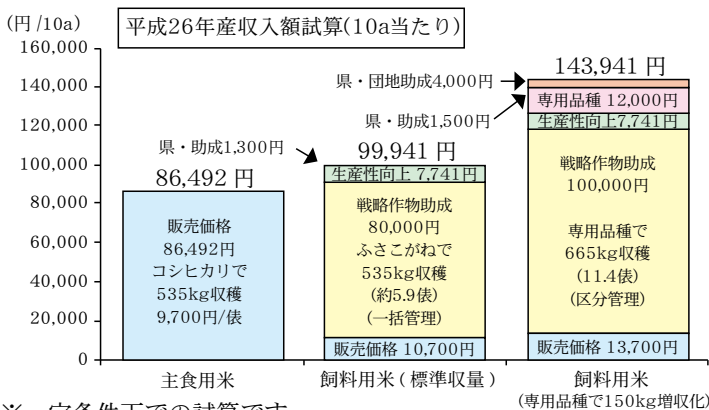


飼料用米の取組で収入増加

消費量の減少や過剰作付により、主食用米の価格が下落しています。飼料用米に取り組み、収入増加と過剰作付の解消を図りましょう。

◆飼料用米の取組のメリット

- ① 水はけの悪い湿田でも作れます。
- ② 既存の機械や施設をそのまま使えます。
- ③ 国や県等の支援策が受けられ、主食用米を作るより収入額が増える可能性があります。



※一定条件下での試算です。

農地貸借の新しい仕組みです！  
「農地中間管理機構」を  
活用し、担い手への農地集積

農地を管理するのが難しくなってきたので貸したいが相手を見つけれない、経営規模を拡大したいが借りられる農地を探すのが大変、等の地域を抱える人と農地の問題を解決するためには、信頼できる農地の中間的受け皿を活用することが有効です。

今年度から各道府県に一つ設置された「農地中間管理機構」は、農業振興地域内の農地を借り受けて、必要な場合には簡易な基盤整備を行い、またまりのある形で担い手に貸し付ける公的機関です。

まとまった農地を機構へ貸し付けた地域には市町村から協力が金が支払われます。また、農地を機構に貸し付けた個人にも要件を満たせば協力が金が支払われます。

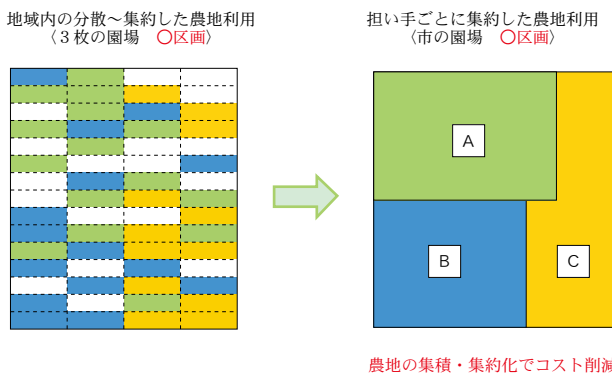
ただし、現地確認の結果、再生困難な耕作放棄地等については、機構は借り受けないこととなっています。

機構から農地を借りたい場合は、定期的に機構が行う借受希望者の募集に応募する必要があります。農地の貸付先は、「人・農地プラン」作成済み地域であればその内容を尊重して、機構が決定します。

協力金の内容

- ①地域集積協力金（地域）  
地域の一定割合の農地を貸付  
2～3.6万円/10a
  - ②経営転換協力金（個人）  
離農や経営転換により全自作地を貸付  
30～70万円/戸
  - ③耕作者集積協力金（個人）  
担い手の経営農地に隣接する農地を貸付  
2万円/10a
- ※平成28年度以降、段階的に減額されます。

農地の集約（イメージ）



詳細は、柏市農政課

(電話) 04-7167-1143

公益社団法人

千葉県園芸協会農地部

(電話) 043-223-3011

までお問い合わせください。

園芸施設共済補償の拡充

園芸施設共済は、農業災害補償法に基づく制度で、国の掛け金補助があります。

災害への備え・農業経営の安定のために、ご加入をお勧めします。

◆加入期間は原則1年間加入できるもの

- ・園芸施設本体、付帯施設
- ・施設内農産物
- ・撤去費用・復旧費用
- ◆共済金の支払対象となるもの
- ・風水害、雹害、地震等の自然災害
- ・火災、破裂及び爆発
- ・病虫害、鳥獣害等

補償が拡充されます(平成27年2月から)

さらに農家選択での復旧費用の増加で、本体は再建築の8割まで補償

共済金額	2,208,000円	2,496,000円
被覆	被覆	被覆
本体	1,152,000円	1,152,000円
復旧費用	288,000円	288,000円

耐用年数等の見直しにより、本体補償額が2倍以上に充実！

パイプハウスの例：  
設置後4年経過  
設置面積1,000㎡  
19mmパイプ、  
耐久性軟質フィルム(1年未満)  
補償8割(上限)  
共済掛金率(千葉県)  
時価部分：3.373%(1/2割補助)  
復旧部分：1.113%

共済掛金(農家負担分)	拡充前 26,562円	拡充後 37,238円	農家選択による追加 40,443円
-------------	----------------	----------------	----------------------

※この他に事務費賦課金が加算されます。  
支払共済金は損害程度に応じて支払われます。

北総農業共済組合 東葛 NOSAI センター 電話 04-7128-6030

国が支える。安心が大きくなる

担い手積立年金

農業者年金

農業者だけが加入できる農業者年金は、多くのメリットがあるお勧めの年金制度です。

- 国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の人は誰でも加入できます。
  - 自分の年金原資を自分で積み立てる、積立方式の確定拠出型年金です。
  - 保険料は月額2万円から6万7,000円までの間で1,000円単位で自由に選択でき、また、いつでも見直すことができます。
  - 80歳までの保障が付いた終身年金です。
  - 保険料は全額が社会保険料控除の対象になり、計上できるなど税制面優遇措置があり、所得税・住民税の節約になります。
  - 認定農業者や青色申告者等に対しては、国から保険料の補助(2割～5割)があります。
- お問い合わせは、農業委員会事務局までご連絡ください。

平成26年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりとなっております。

賃借料情報の提供

1 【田（水稲）の部】					
締結（公告）された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	18,900円	24,000円	12,000円	56
	未整備地域	—	—	—	2
旧沼南地域	基盤整備地域	18,200円	26,400円	9,200円	42
	未整備地域	—	—	—	2
（参考）柏市平均		18,500円		101	
2 【畑（普通畑）の部】					
締結（公告）された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数
旧柏市地域	基盤整備地域	6,400円	10,000円	5,000円	7
	未整備地域	20,300円	30,000円	19,000円	19
旧沼南地域	基盤整備地域	13,500円	20,000円	9,200円	5
	未整備地域	19,700円	27,000円	10,000円	22
（参考）柏市平均		18,600円		48	

- \* 1 データ数は、集計に用いた筆数である。
- \* 2 賃貸料を物納支給（水稲）としている場合は、60kg当たり12,000円に換算している。
- \* 3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。
- \* 4 「（参考）柏市平均」の平均額は、各区分の平均値をデータ数により加重平均した値である。
- \* 5 必要データ数を5件以上としているため、数値が出ていない地域がある。

荒廃農地調査結果

平成26年9月から10月にかけて荒廃農地の現地調査を実施しました。柏市全体で荒廃農地の面積は82・71haでした。昨年度と比較すると、約4haの増加となっております。地区別では柏地区・富勢地区・手賀地区で大きく増加してしまいました。一方田中地区・風早地区では減少しています。この調査結果を基に荒廃農地の所有者の方には口頭又は文書による指導を行う予定です。

農地法上、農地の所有者には、適正に管理する義務があります。また、荒廃農地化していますと、周囲の農地所有者に迷惑がかかってしまいます。農地は国民に食料を供給するための基礎的な生産要素であるとともに、農業者にとって極めて重要な経営基盤です。自ら耕作するか、誰かに貸し付ける等、農地の有効利用にご協力をお願い致します。

※平成24年度まで「耕作放棄地」または「遊休農地」という言葉を用いていました。現在は調査要領の改正に伴い「荒廃農地」という言葉を用います。詳しくは農業委員会事務局までお問い合わせください。

地区	田		畑		計	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
柏	184(19)	895(143)	26(0)	79(0)	210(19)	974(143)
田中	29(0)	231(0)	42(4)	371(48)	71(4)	602(48)
土	9(3)	97(55)	16(0)	179(0)	25(3)	276(55)
富勢	21(7)	238(99)	35(27)	626(549)	56(34)	864(648)
風早	100(56)	867(484)	39(3)	492(31)	139(59)	1,359(515)
手賀	411(165)	2,539(1,423)	272(7)	1,657(73)	683(172)	4,196(1,496)
計	754(250)	4,867(2,204)	430(41)	3,404(701)	1,184(291)	8,271(2,905)

表：平成26年度柏市荒廃農地調査結果(面積単位：アール) 表内( )は農用地区域内面積

農業委員視察研修

平成26年10月30日(木)に栃木県宇都宮市の「道の駅うつのみや・ろまんちっく村」の施設を視察研修いたしました。

「道の駅うつのみや・ろまんちっく村」は、46ha(東京ドーム10個分)という広大な面積の中に、農産物直売所や地物の食材が楽しめる飲食店だけでなく、体験農場や森遊び、ドッグラン、温泉やプールに宿泊施設がある滞在体験型ファームパークです。

宇都宮市の市制施行100周年記念・農政事業の一環として農林業の振興、地域の活性化、市民の余暇活動の充実を目的に事業化され、平成8年9月14日にろまんちっく村(正式名称は宇都宮市農林公園ろまんちっく村)が開園し、平成24年9月22日に、道の駅うつのみやとしてリニューアルオープンしました。

一年を通して季節ごとにイベントが開催されており、冬ならイチゴハウスでの摘み取り体験や、関東の鍋が勢ぞろいする「大鍋祭り」といった具合に、話題には事欠きません。

一般的に道の駅では、直売所としての機能が重要です。そこに、様々なレジャー施設を融合させて、農業そのもの

のをレジャーにする手法は、大いに興味深いものであります。柏市においても同程度の面積を確保して、という事は難しいかもしれませんが、集客力の向上に関するアイデアであったり、柏の農業振興促進に役立てたいです。



直売所の様子。新鮮野菜や農産物加工品などが揃っている。



ろまんちっく村市場(あおぞら館)

女性コーナー

今回は、シクラメン栽培をしている女性農業者、大青田の内海すみ子さんと祥子さん(息子の妻)をご紹介します。

内海家は、家族4人(夫・息子とパート3人)で、シクラメン11月〜12月・ラナンキュラス2〜3月・サイネリア3月・カーネーション・ペコニア5月等、30aを温室栽培をし、直売及び市場に出荷をしています。

仕事の内容は、種まき・移植・鉢上げ・温室管理・出荷作業等、細かい手作業や力仕事と、多方面に渡ります。特に、12月のシクラメンは、仕上げ作業に熱が入ります。



温室での作業  
すみ子さん(左) 祥子さん(右)

シクラメン栽培は、勝義さん(夫)が44年前に一代で築きあげ大変苦労をされたようです。それを支えたのがすみ子さん(妻)でした。始めた頃は、栽培が思うようにならない時もありましたが、十数年前からは、息子夫婦の協力もあり、現在に至ります。今では、常連のお客さんとお会いするのが何よりも楽しみだそうです。



出荷されるシクラメン

最後に祥子さんから、シクラメン最盛期には、列をつくり大盛況だった、以前のようなシクラメンブームが来るよう頑張りたいとおっしゃっていました。

(記事・写真) 谷田貝和代編集委員会副委員長

表紙の農業者紹介③⑥ 鹿倉健次さん

今回はJA出荷組合のダイコン部会長を長年務めている金山の鹿倉健次さんをお訪ねしました。奥さんと二人でダイコン70a、ブロッコリー50a、エダマメ20aを栽培。庭先で少量販売するほかは出荷組合を通じて市場や生協へ出荷しています。

出荷組合部会長の仕事は「市場でいかに有利に販売するか」ということ。そのためには市場との信頼関係を構築することが不可欠です。組合員一人一人の出荷能力を把握し、市場に提出する出荷計画に反映させてきました。この様な地道な取り組みによって市場関係者からは「ダイコンのことは手賀のけんちゃんに聞け」と、大雨などの自然災害の危険性が高まると「ダイコンは出荷できるか」と真っ先に連絡が入るそうです。

品質ももちろん大事。手賀のダイコンは「市場の中で遠くまで見ても光っているのがわかる」とか。洗浄機にかけた後にもう一度、きれいな水を使って手でなで洗いをするので、時間がたってもきれいな状態を保てるのだそうです。

市場で評価されているダイコ

ンですが、組合員の高齢化などで出荷量が徐々に減っているのが悩みとか。直売もいいけど安売り競争になりがち。市場出荷でもこれからは安定した収入が得られるといいます。そのためには十分な生産量を維持しなければなりません。「関心のある農家がいいたら、いろいろとアドバイスもします。一緒にダイコンを出荷しませんか。」とおっしゃっていました。

鹿倉さんは手賀沼周辺地域協議会実施の収穫体験（エダマメ等）も行っています。ご興味のある方は参加されてはいかがでしょうか。



作業する鹿倉さん夫婦の様子

(記事・写真) 杉野 光明 編集委員会委員長

農業委員会総会等日程

※赤字が面接日です。  
※申請の締め切りは毎月10日です。  
(届出は随時受け付けます。)

調査会日程	総会日程
4月16・17日(木・金)	4月24日(金)
5月14・15日(木・金)	5月21日(木)
6月18・19日(木・金)	6月26日(金)
	7月15日(水)
7月16・17日(木・金)	7月24日(金)
8月17・18日(月・火)	8月24日(月)
9月17・18日(木・金)	9月28日(月)
10月19・20日(月・火)	10月26日(月)

ご協力感謝いたします。

・農家基本台帳  
・農業委員会委員選挙人名簿の登録申請

農家の皆様の多大なるご協力のおかげで、スムーズに回収することができました。来年度も調査を行う予定ですので、よろしくお願いたします。

編集委員会委員長  
編集委員会副委員長  
編集委員

杉野 光明  
谷田 貝野  
飯塚 恒和  
倉持 和光  
金子 幸一  
坂巻 洋行

ザ・クレストホテル柏

(帝国ホテルグループ)



ご宿泊・レストラン・ご宴会・ウエディング

柏駅西口2分。  
この街とのつながりを大切に育みながら  
心を込めたおもてなし。

柏市末広町14-1 ☎04-7146-1111

柏第一ホテル  
鮎芳

〒277-0005 千葉県柏市柏3丁目6-4 FAX:04-7162-1136  
Telephone

04・7162・1111

ホテルご滞在の折りには、ぜひ鮎芳へお立寄りください。  
おいしい料理と、心からのサービスでおもてなしいたします。